

交通ちば



VOL. 408 平成24年5月1日

千葉県交通安全活動推進センター
公益財団法人 千葉県交通安全協会

春の全国交通安全運動出動式



啓発活動に出発する白バイ・パトカーを拍手で見送る

4月6日、千葉市中央区の県議会棟前で、春の全国交通安全運動に伴う出動式が行われました。式には森田健作県知事、鎌田聡県警察本部長をはじめ、交通安全活動を推進する機関・団体の役員や代表者、幼稚園児の約200人と、白バイやパトカーなどの車両が参加しました。

運動期間中、県下全域でたくさんの方が運動に参加し、交通事故をなくそうとの思いを新たにしました。

(次頁に続く)



『交通安全の誓い』を読む「はまの幼稚園」の園児

5月は「自転車安全利用推進強化月間」です
毎月15日は「自転車安全の日」

子どもたちを交通事故から守ろう

多彩な活動を展開し終了 春の全国交通安全運動

出動式で激励のあいさつに立った森田知事は「この春、たくさん子どもたちが小学校に入学してきます。大人は、子どもたちをしっかり守るという思いを、いっそう強く持つてください。誰一人として交通事故で悲しい思いをさせはなりません。皆で団結し、安全で住みよい千葉県を作りましょう」と述べました。

続いてあいさつに立った鎌田本部長は「今年の始め、交通死亡事故が多発したが、諸対策を講じた結果、沈静化の傾向にある。期間中は特に自転車事故防止に関する

啓発活動を進めていきたい。一人ひとりが周囲に声かけをして1件でも減らしていきたいでしょう。」と呼びかけました。

その後、特別参加した千葉市中央区の「はまの幼稚園」の2人の園児が「僕たちは交通ルールを守ります。おじいちゃん、おばあちゃんも交通事故にあわないように気をつけてください。運転する人は思いやりのある運転をお願いします。」と「交通安全の誓い」を知事と本部長の前で読み上げました。

県警察本部のカラーガード隊を



整列した参加者を巡検する県知事と代表者



交通関係者が多数出席して

先頭に県警音楽隊がパレードをした後、白バイのエンジンがかかれ、参加者が拍手で見送る中、運動の始まりを周知する街頭広報活動に出発して行きました。

運動期間中、県下44地区の交通安全協会では地域の実情に合わせた交通事故防止活動を、精力的に展開しました。運動の重点目標に沿った新入学児童の登下校時の保護誘導、交通安全教室を多数の地域で実施しました。

また、自分の姿を見せ、一声かけて行う街頭啓発活動や広報活動を県下全域で行い運転者に安全運転を呼びかけました。各地で行われたイベントには（公財）千葉県交通安全協会のシートベルトコンビンサー（衝突衝撃体験装置車）を派遣し、シートベルト着用の大切さを、たくさんの人に体験してもらいました。

運動期間中（4月6日～15日）の県内の交通事故死者数は3人で、全国では12番目の多さでした。無事故を目指す日はこれからも続きます。皆様のご協力をよろしくお願いたします。

サン 3・ライト運動 実施中!! 夕暮れ時から夜間の交通事故防止

千葉県警察本部交通部では、夕暮れから夜間にかけて多発している歩行者の道路横断中の事故を防止するため「3つのライト」を呼びかけています。

① ライト（前照灯）：早めのライト点灯、小まめな切り替え

- 早めの点灯により、歩行者等が車を発見しやすくなり、また、道路を横断するときなどの判断の誤りを防止することができます。
- 対向車がないときは、小まめにライトを上向きにして歩行者、自転車の早期発見に努めましょう。

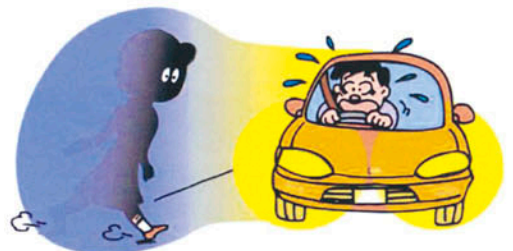
② ライト・アップ（目立つ）：反射材、LEDライト等の活用

歩行者・自転車は、反射材やLEDライト等を身につけ目立つようにしましょう。

③ ライト（右）：右からの横断者にも注意

交通死亡事故で最も多いのは、車から見て右側から横断してくる歩行者との衝突です。道路の右側にも注意を向けて走行しましょう。

サン 「3・ライト運動」を推進して交通事故を防止し、太陽（サン）のように明るく、幸せな人生を送りましょう。



千葉県警察本部 交通部

各地の交通安全活動ニュース

交通安全協会の活動にご協力いただきありがとうございます。会員の皆様の会費は、地元の交通安全協会の交通安全ボランティア活動に活用されています。



いすみ 大原庁舎会議室で春の安全運動を前に合同会議を開く。



松戸東 馬橋第六長寿会員の安全教室で反射材などを配る。



鎌ヶ谷 イオン鎌ヶ谷店前で通行人に啓発物を配る。



館山 管内8中学校の新生入生に自転車用ヘルメット等を贈る。



印西 イオンモールで啓発物を配り事故防止を訴える。



市川 市役所前道路で自転車利用者に安全利用を呼びかける。



鴨川 長狭幼稚園の卒園児に記念品を贈る。



多古町 町立中央保育所周辺で横断歩道の渡り方を指導する。



行徳 行徳駅前では自転車利用者に啓発物を配る。

交通指導員3月の出勤状況

○駐車対策	24回	108人
○安全教育		
・児童	24回	66人
・一般・高齢者	18回	32人
○自転車教室	11回	40人
○祭礼警戒	11回	113人
○街頭活動		
・チャイルドシート・シートベルトの着用指導	15回	109人
・街頭監視	179回	1495人
・街頭広報	73回	163人
○各種イベント	35回	399人
○会議・研修会等	99回	908人
□出勤回数総数		489回
□出勤人員総数		3433人



茂原 新入学児童を対象に第22回交通安全用品贈呈式を行う。



浦安 浦安保育園で横断歩道の渡り方等を指導する。



一宮 一宮保育所で交通安全教室を開き啓発する。



松戸 西部防災センターで春の交通安全運動打合せ会を開く。

銚子交通安全協会



大里忠弘会長

大里会長の話

「毎年、元日の午前2時から交通指導員が犬吠埼の道路に配置につき、初日の出を見に来る皆さんの車の誘導を行い1年の活動がスタートします。」

交通安全協会の基本理念は、交通指導員をフル動員して銚子市から1件でも交通事故を減らし、安全な町づくりを目指そうということです。今、市には約7万人の市民がいますが、高齢化率は26・7パーセントにもなり、4人に1人が65歳以上の高齢者になっています。ですから高齢者の交通事故防止に特に力を入れていて、高齢者のお宅を訪れ、啓発物を配りながら交通事故防止を呼びかける交通安全宅配便を継続して行っています。

もうひとつ取り組んでいる活動としては、毎年7月に実施している「社会を明るくする運動」の一環として行う交通安全パレードがあります。交通関係者は勿論、市のさまざまな団体が参加して、その数は約2千人。市役所から銚子駅まで行進します。これは全国で一番大きい規模の交通安全パレードと言われ、回を重ね



大木文将事務局長、越川靖代さん、石井洋子さん

大木事務局長の話

「窓口を預かる事務局としては親切な対応を一番に心掛けています。4、5月の2か月間は幼稚園や小学校、中学校を巡回しての交通安全教室があり、これは市の教育委員会とタイアップして行っています。幼稚園と小学一年生を対象にした安全教室は保護者の方にも参加してもらっています。交通指導員の高齢化が進んでいます。炎天下、寒風の中、いつまでも健康で、街頭啓発活動や広報活動が続けられるよう一生懸命支えていきたいと思っています。」

ね、市の伝統的な行事となっています。交通事故防止活動は市や警察、交通関係団体の協力をいただきながら行っているもので、皆さん方との緊密な連携のもとにすめられていて感謝しています。他の地域と同じように、高齢者対策、自転車事故の防止、交通安全教室を今後も積極的に進めていこうと思っています。」

セーフティドライバーズちば2012

123日間の無事故・無違反運動

参加チーム募集

運動の期間 平成24年7月1日(日)～10月31日(水)の123日間

募集期間 平成24年5月1日(火)～6月30日(土)

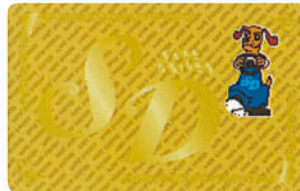
- 無事故・無違反の達成チームの中から抽選で、5万円の商品券が7チームに贈呈されます。また、粗品が達成チームの中から約1割のチームに贈られます。
- 無事故・無違反チームの方には「達成証」が贈られます。
- 一年以上、無事故・無違反の方には「SDカード」が贈られます。



主催 セーフティドライバーズちば2012実行委員会

公益財団法人 千葉県交通安全協会
 社団法人 自販連千葉県支部
 千葉県タクシー協会
 社団法人 千葉県バス協会
 社団法人 千葉県自動車整備振興会
 自動車安全運転センター千葉県事務所

後援 千葉県・千葉県警察・千葉県交通安全対策推進委員会



SDカード

チーム構成	参加費	お問い合わせ先
5人	1チーム 3,150円	自動車安全運転センター 千葉県事務所 ☎ 043-276-3040

発行 公益財団法人 千葉県交通安全協会

ホームページアドレス
<http://www.chiba-ankyo.or.jp>

千葉市美浜区浜田2丁目1番
 千葉県警察本部交通部運転免許本部内
 電話 043-271-8481

交通ルールを守って
 つながる笑顔

